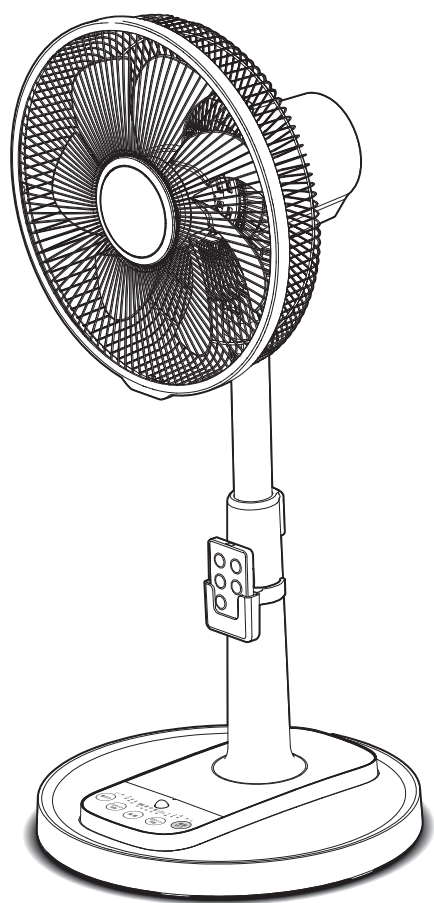


リモコン式リビング扇 (DCモーター式)

LFD-306L



取扱説明書

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	3
各部の名称	4
リモコン	6

取り扱いかた

組み立て	7
使いかた	8
お手入れ	10

こんなときには

長期使用製品について	10
故障かな？と思ったら	11
仕様	11
保証書	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用の前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店から受け取ってください。

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



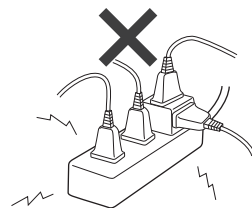
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
火災の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
取扱説明書に記載された、使用開始時の組み立て・収納時の分解以外は、分解・修理・改造をしないでください。火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



接触禁止

- 前カバー・後カバーのすき間から、物や手を入れない
感電やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

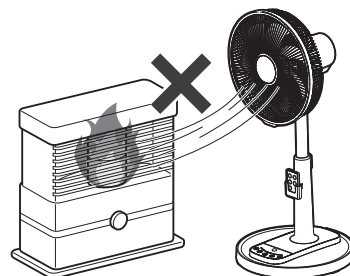
【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- 扇風機以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。

- 業務用など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。



- 長時間、風を直接身体に当てない
特に、小さな子供やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない

- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・けがの原因になります。



- 移動するときは必ず取っ手を持つ
引きずって移動しないでください。畳・床に傷がつきます。

- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所で使用すると、転倒して、けがや周囲の物品の破損の原因になります。



- 運転中、回転部に顔や身体、衣服などを近づけない

- カーテンやブラインドのひもなど、巻き込まれやすい物の近くで使用しない
けがや家財の破損の原因になります。

- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない

- ほこり、粉塵の多い場所を使用しない
過熱して火災の原因になります。

使用上の注意

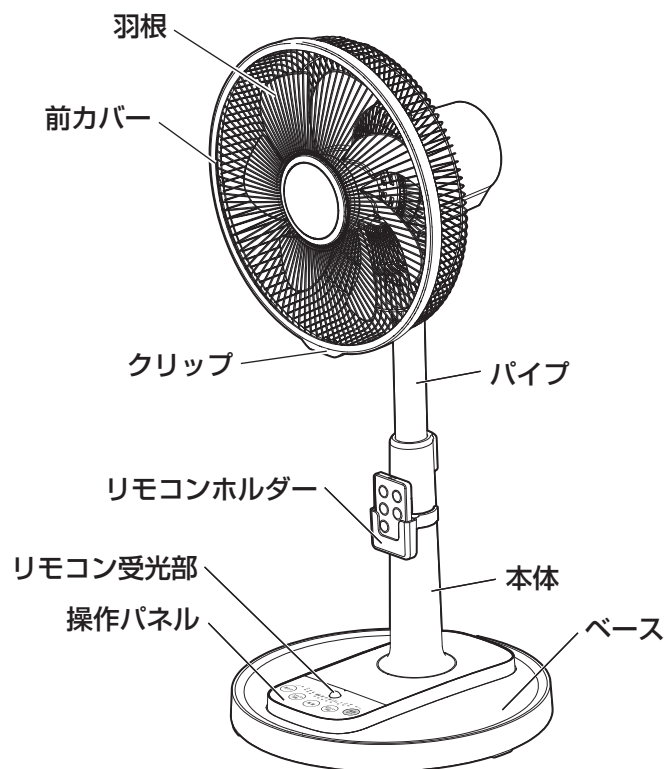
- 台所など、湿気や油煙の多い場所での使用は避けてください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、掃除機などでは取りきれないことがあります。

- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。

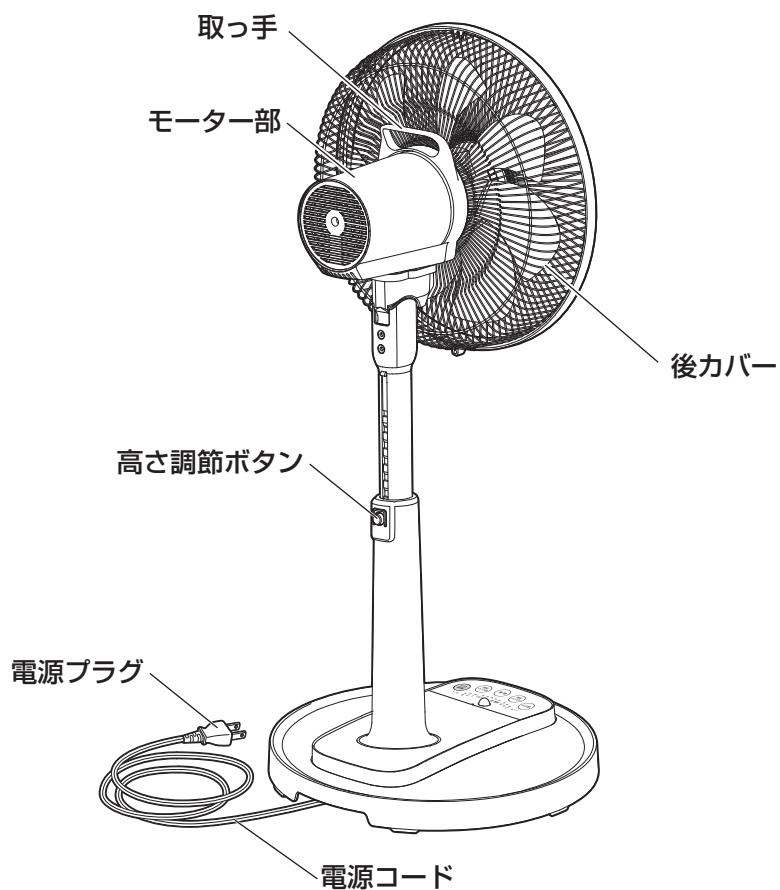
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

各部の名称

■正面



■背面



■操作パネル

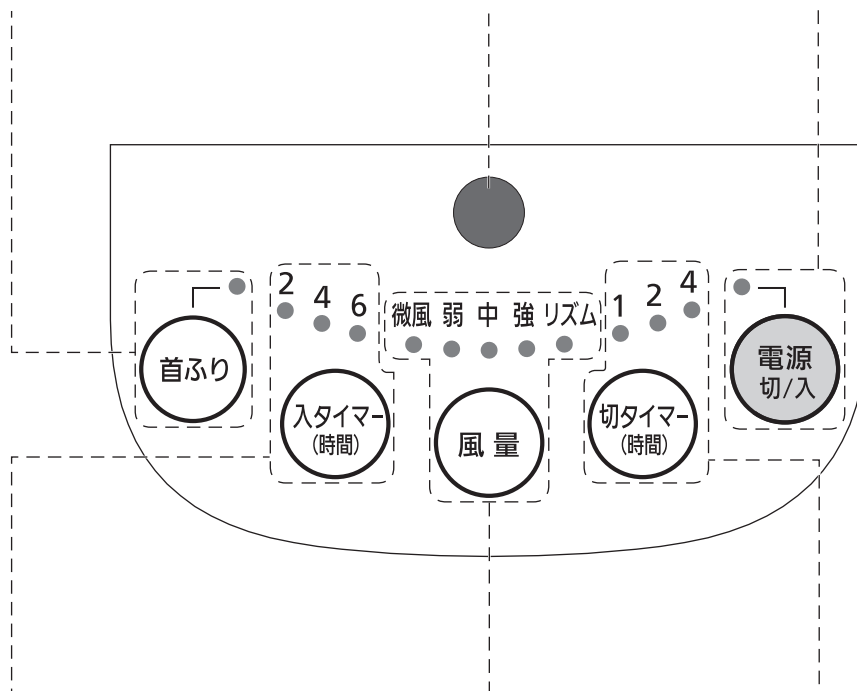
首ふりボタン・ランプ

ボタンを押してランプを点灯すると、首ふりします。再度ボタンを押してランプを消灯すると、首ふりは停止します。

電源 切/入ボタン

ボタンを押すと電源が入り、運転が始まります。もう一度ボタンを押すと電源が切れ、運転が停止します。

リモコン受光部

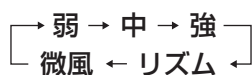


入タイマーボタン・ランプ

入タイマーの時間を設定します。入タイマーを使用すると、設定した時間後に電源が入り、運転を開始します。

風量ボタン・ランプ

ボタンを押すたびに、風量が次のように切り替わります。



切タイマーボタン・ランプ

切タイマーの時間を設定します。切タイマーを使用すると、設定した時間後に電源が切れます。

リモコン

※ リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

電源ボタン

ボタンを押すと電源が入り、運転が始まります。もう一度ボタンを押すと電源が切れ、運転が停止します。

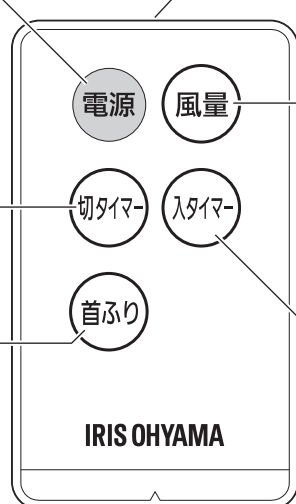
切タイマーボタン

切タイマーの時間を設定します。

首ふりボタン

首ふりのオン・オフを切り替えます。

赤外線発光部



風量ボタン

風量ボタンを押すたびに、風量が次のように切り替わります。

弱 → 中 → 強
微風 ← リズム

入タイマーボタン

入タイマーの時間を設定します。

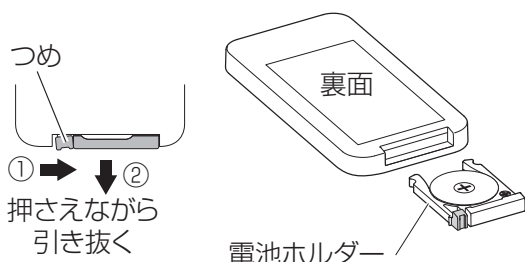
■電池のセット方法

使用する前に、リモコンに付属の電池をセットしてください。

また、操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池（CR2032）に交換してください。

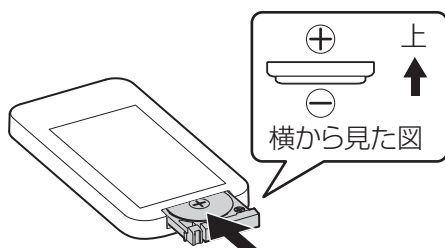
1 電池ホルダーを引き抜く

- つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。



2 新しい電池をセットする

- 電池ホルダーに、新しい電池を正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。



※ 電池の表裏を間違えないでください。

※ 使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる

間違えると、破裂・液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく

液が漏れて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

液が漏れた場合は、電池ホルダーについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない

皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない

ショートして液漏れや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない

破裂・液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- コイン電池は絶対に充電しない

破裂・液漏れにより、火災・けが・やけどの原因になります。

組み立て

扇風機は分解して梱包してあります。次の説明にしたがって組み立ててください。

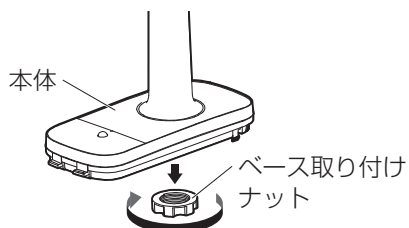
※ 梱包材は扇風機を収納するときに使用しますので、個装箱とともに保管してください。



注意

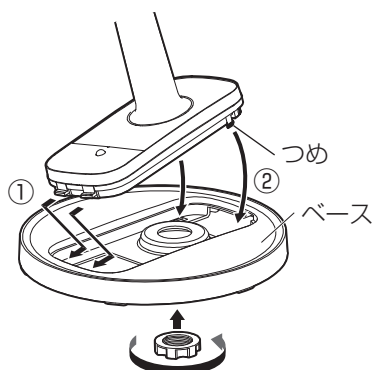
● 組み立てが完了するまでは、絶対に電源プラグを接続しないでください。

1 本体底面からベース取り付けナットを外す



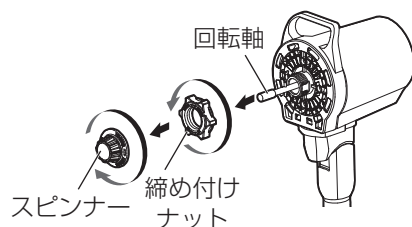
2 本体にベースをはめ込み、ベース取り付けナットを締める

- 本体の前方をベースに引っ掛け (①)、後方のつまめがパチンとはまるまで、押し込んでください (②)。



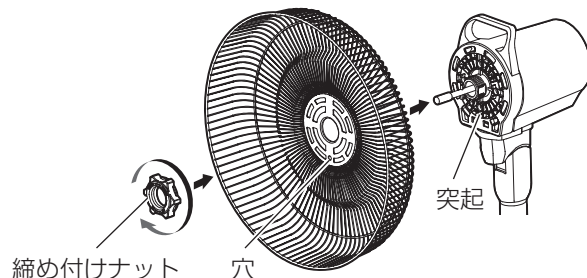
3 回転軸からスピナーと締め付けナットを外す

- スピナーは時計回りに回して外してください。



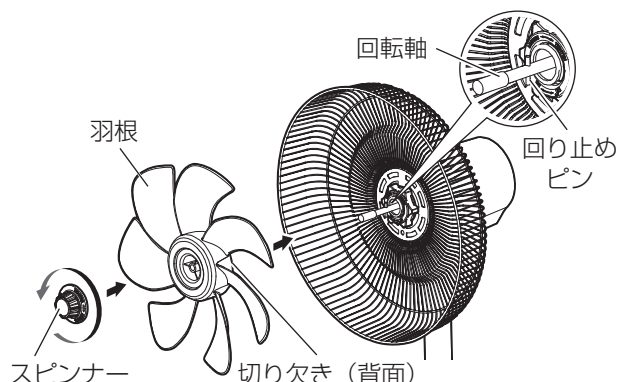
4 後力バーをはめ込み、締め付けナットで締める

- 後力バーの上下を合わせてはめ込んでください。
(本体の突起に後力バーの穴を合わせます。)



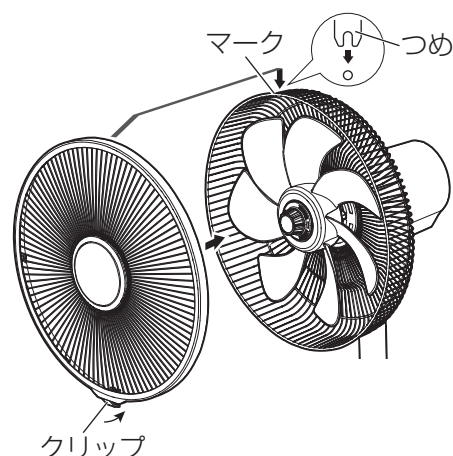
5 回転軸に羽根を差し込み、スピナーで締める

- 回転軸の回り止めピンと、羽根の切り欠きを合わせてはめ込んでください。
- スピナーは反時計回りに回して締めてください。



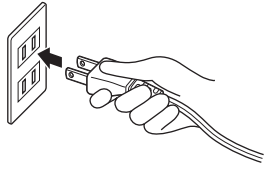
6 前力バーを取り付ける

- 前力バー上部のつまめを、後力バーのマークの後ろに上からはめ込み、下側をはめ込んだら、前力バーのクリップでとめます。



使いかた

- 1** 扇風機を水平で安定した場所に設置し、電源プラグをコンセントに接続する



2 電源 切／入ボタンを押す

- 電源プラグを抜かないでないと、前回使用した設定で運転が始まります。
- リモコンの電源ボタンでも操作できます。



3 風量を選ぶ

- 風量ボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、風量が切り替わります。
- リモコンの風量ボタンでも操作できます。

微風 弱 中 強 リズム



→ 微風 → 弱 → 中 → 強 → リズム

微風：微風で静かに運転します。

弱：風量弱で連続運転します。

中：風量中で連続運転します。

強：風量強で連続運転します。

リズム：強さを変化させて、自然に近い風を再現します。

■切タイマー

- 切タイマーボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、切タイマーがスタートします。
- リモコンでは切タイマーボタンで設定できます。



→ 1 → 2 → 4 → 消灯 (切タイマー解除)

- 切タイマー運転中は、残り時間に仕掛けてランプが切り替わり、設定した時間後に電源が切れて、運転が停止します。

4 → 2 → 1 → 消灯 (運転停止)

■入タイマー

- 入タイマーボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、入タイマーがスタートします。
- リモコンでは入タイマーボタンで設定できます。



→ 2 → 4 → 6 → 消灯 (入タイマー解除)

- 入タイマー動作中は、残り時間に仕掛けて入タイマーのランプが切り替わり、設定した時間後に電源が入って、運転を開始します。

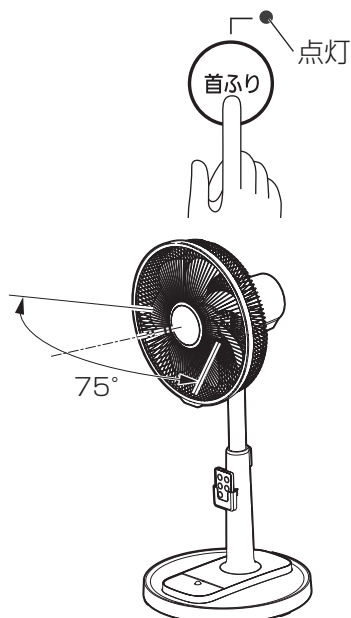
6 → 4 → 2 → 消灯 (運転開始)

- 入タイマーの動作中は、選択された風量のランプが点灯します。首ふりが入になっている場合は、**首ふり**ランプも点灯します。
- 入タイマー動作中も、風量と首ふりの設定は変更することができます。

■ 首ふり

横方向

- ボタンを押すと、**首ふり**ランプが点灯して、左右に首ふりします。
- リモコンの**首ふり**ボタンでも操作できます。

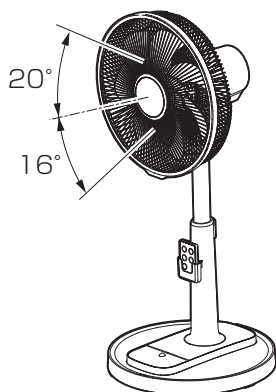


- 再度ボタンを押して**首ふり**ランプを消灯すると、首ふりは停止します。

●手動でも少し左右の角度を変えることができますが、無理に角度を変えると破損するおそれがあります。

縦方向（手動）

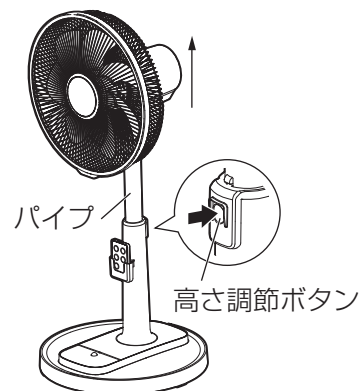
- 下向き16°～上向き20°の範囲で、手動で角度を調節することができます。



■ 高さ調節

高くするとき

- 高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上をスライドしてください。



低くするとき

- 上から押し下げてください。

●移動するときは、パイプを一番下まで押し下げて固定してください。

■ 停止

運転を停止するには、**電源 切／入**ボタンを押す

- リモコンの**電源**ボタンでも操作できます。
- 電源が切れて、運転が停止します。



お手入れ



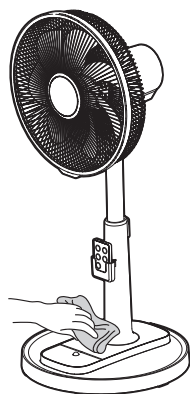
注意

- お手入れは、必ず運転を停止し、電源を切って、電源コードを抜いて行ってください。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

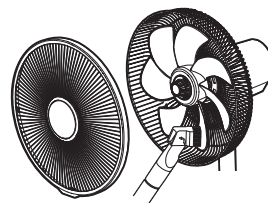
本体・ベース

- ・柔らかい布でから拭きしてください。
- ・汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



前カバー・後カバー・羽根

- ・前カバーを外し、掃除機などでほこりを取り除いてください。



保管

- ・長期間使用しないときは、ポリ袋などをかぶせるか、組み立てと逆の手順で分解し、個装箱に収納して、湿気の少ない場所で保管してください。

長期使用製品について

設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る原因になります。

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- 電源ボタンを押しても何も反応しない
- 羽根が回るときに異常な音がある
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ この製品の設計上の標準使用期間は、製品本体に表示されています。

設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置	本書に基づく組み立て及び設置
負荷条件		本製品の最大定格での運転
想定時間	運転時間	8h/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
羽根が回転しない	●羽根が正しく取り付けられていない	●組み立ての手順にしたがって、羽根を正しく取り付けてください。
リモコンで操作できない	●電池が消耗している	●新しい電池に交換してください。
	●電池の向き（表裏）を間違えている	●電池を正しい向きにセットしてください。
	●リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある	●障害物を取り除いてください
	●リモコンが正しい方向を向いていない	●4m以内の距離で、リモコンの赤外線発光部を本体操作パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。
運転音大きい	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に設置してください。
首ふり時にカタコトという音がする	●首ふり運転時にモーター特有の音が大きくなることもある	●異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC 100V 50 / 60Hz
消費電力	最大	16W
	待機時	0.8W
外形寸法（電源コード含まず）		幅355×奥行365×高さ680～860mm
質量（電源コードを含む）		2.9kg
電源コード長さ		約1.5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

廃棄について

●製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

リモコン式リビング扇（DCモーター式） LFD-306L

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
		住所・店名	
		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください